

村田きょうこ マンスリーレポート



No.030 <2024年3月号>

皆さん、ご安全に！村田きょうこです。

3月になり、来年度の予算審議が衆議院から参議院へと移ってきました。すでに、2月の7日、21日に資源エネルギー・持続可能社会に関する特別委員会で参考人質疑を行いました（後日「今回の質疑のポイント」を発行いたします）が、他の委員会もそろそろ始まりますので、年末年始にかけてお聞きしたご意見をこれからの質疑に活かしてまいります。

1. 党大会で議長を務めました



2月4日（日）に開催された立憲民主党の党大会で、議長を務めました。議長挨拶では、「ご安全に！」からはじめ、「ご安全に」の意味も紹介しました。私と一緒に議長をされた山田勝彦衆議院議員（4月に行われる長崎3区の衆議院補選に立候補予定）が椅子を倒して、互いに「ご安全に」を言い合うハプニングもありました。

派閥の裏金問題への対応や、子ども子育て支援金の財源に関する答弁など、政府与党は国民が抱えている疑念に正面から向き合っていません。党大会では「いざ！政権交代！」と呼びかけましたが、この掛け声どおりに**政権交代が実現するよう頑張っています**。当日の様子はQRコードからご覧いただけます（13分33秒からと、1時間3分30秒から登場します）。



2. 基幹労連中央委員会で挨拶



2月7日（水）に都内の銀座ブロッサムで開催された基幹労連の中央委員会で、組合代表者の皆さんに**労使交渉に向けた激励の挨拶**をさせていただきました。

今回の「AP24 春季取り組み」は、基幹労連に加盟する組合全体で賃金改善を要求することになります。APに向けて、準備を重ねてこられた皆様に心から敬意を表します。社会的にも注目されているAPとなりますが、物価を上回る**賃上げ**や、一年間の組合員の皆さんの頑張りに報いる**一時金獲得**、**その他労働条件の改善の実現を願っています**！わたしも国会から後押ししていきます。



3. 齋藤経済産業大臣に要請をしました



2月16日（金）基幹労連の皆様とともに、齋藤経済産業大臣に対して政策要請を行いました。内容は、**資源やエネルギーの安定的な確保**、国益や国際競争力を念頭に置いた**地球温暖化対策の推進**、**国際競争力の強化**、ものづくり産業を支える**人材の確保・育成**などです。

齋藤大臣にお会いしたのは初めてだったのですが、経済産業省のご出身で、エネルギー関連の部局を担当して来られたとのことで、とくに原子力発電の再稼働や廃炉を含めた人材・技術の確保の必要性について、熱い思いを持っておられることを感じました。

今後の経済産業委員会での大臣への質疑を楽しみにしています。



4. 水素・アンモニアの供給増、CCS実現へ



2月28日（水）基幹労連国政フォーラム総会に出席しました。通常国会が始まったばかりの時期に総会開催という、例年より早いタイミングでの開催でしたが、その理由は、今国会に提出予定の「水素社会推進法案*」と「CCS事業法案*」が、ものづくり産業・企業の今後の行く末に深く関わっているためです。

基幹労連より法案への思いを説明いただき、その後、質疑応答を行いました。総会を通じ、ものづくり産業の生産拠点を国内に残しながら2050年カーボンニュートラルを実現していくためには、海外からの輸入を含む**水素・アンモニアの供給量拡大**と**CCSを事業化するための基盤整備が必要**だということを皆で共有しました。経済産業委員会で審議する予定の法案ですので、私もフォーラム議員と連携を図りながら、**両法案の早期成立に向けて取り組んでまいります！**

【水素社会推進法案】

エネルギーや原材料として使用する低炭素水素・アンモニア等の供給・活用を促進するために、基本方針の策定や支援措置、規制の特例等の措置を講じる法律。

【CCS事業法案】

脱炭素化が難しい分野で2050年カーボンニュートラルを実現する手段となる、CCS(CO₂を回収して地下に貯留する技術)事業を、2030年までに開始するための制度等を整備する法律。

5. 2月の国会見学 3組 47人



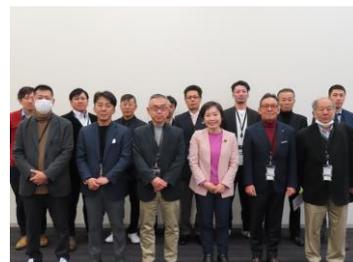
先月は、3組47人の皆様とお会いしました。春季交渉のため今の時期は国会見学に来られる方は多くありませんが、4月以降はたくさんの申し込みをいただいています！



2/6 日立造船労組



2/7 JFE スチール福山労組



2/9 名村造船伊万里事業所協力会

今号は以上です。